

創薬インフォマティクス システム構築サービス

様々な情報を一元的に管理・共有して最大活用するために

創薬段階では標的分子探索・バリデーション、化合物の設計・合成・評価等、様々な研究を行うため多種多様な情報が発生します。また、1つの情報（例えば化合物情報）をとっても、実際の実験値のほか、計算上から発生するデータ等が存在し、それらは研究ごと、種類ごとに散在しているケースが多く見られます。

既存の情報を有効に活用するために、CACではコンサルティングから運用まで、システムの構築をトータルに支援いたします。

創薬インフォマティクス システム構築サービスの概要

1.創薬研究統合データベース構築

研究所内各所に散在している研究成果を、散逸することなく会社の資産としてデータベースに蓄積するとともに、プロジェクトや部門を越えてナレッジとして共有するためのシステムを構築いたします。

2.化合物情報管理システム構築

創薬の中核を担う化合物情報を、通常合成／コンビナトリアル合成／委託合成購入等の種類にかかわらず一元的に管理・共有するためのシステムを構築します。また適切なセキュリティ設定を実現することにより、化学研究者のみならず生物系研究者、マネジメントなど創薬のさまざまなシーンでの利用を可能にします。

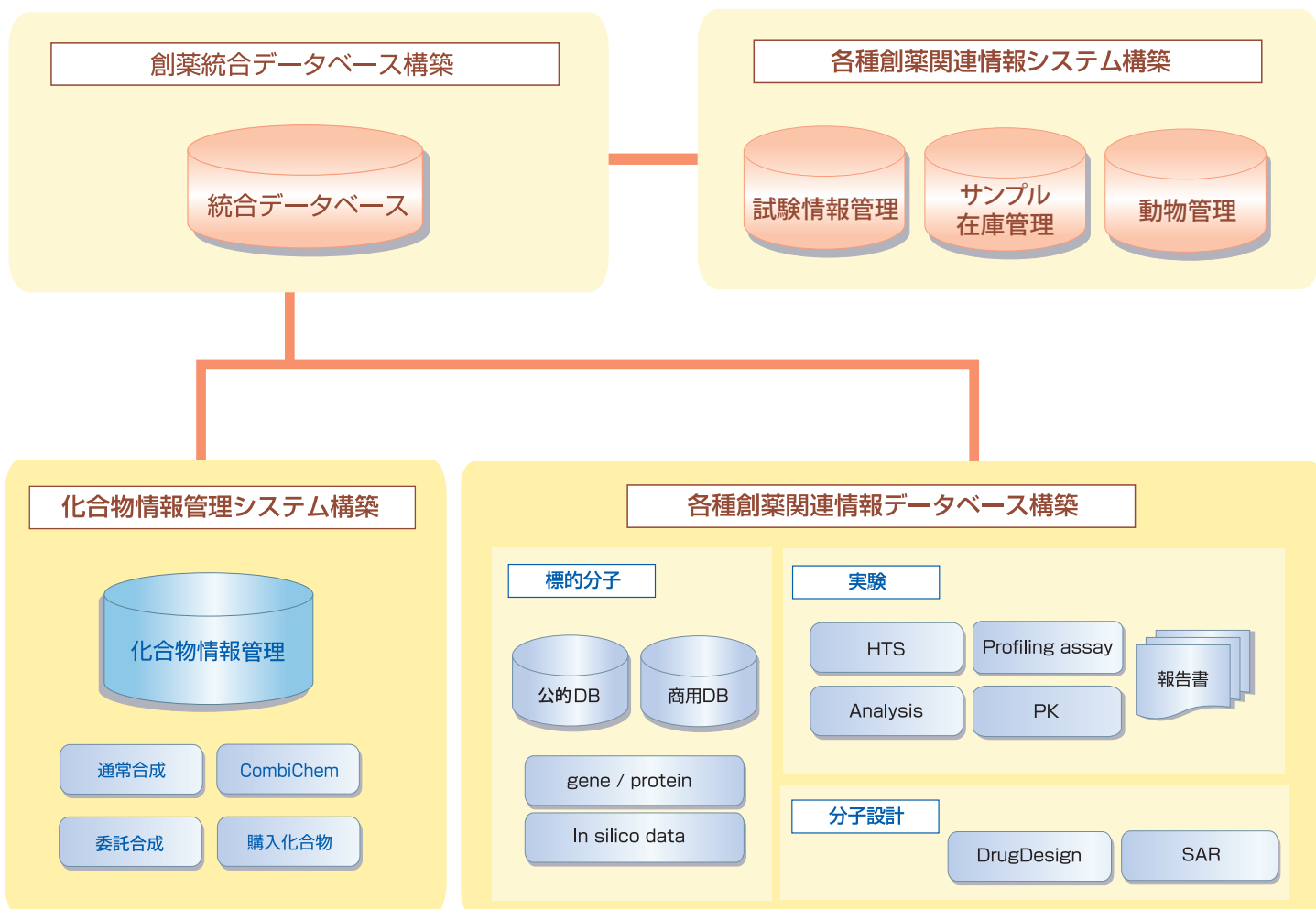
3.各種創薬関連データベース・システム構築

創薬研究に伴って発生するさまざまな情報を管理するためのデータベース構築やシステム開発を行います。

研究に関連する情報（タンパク質・遺伝子情報、アッセイ結果、分析結果等）のデータベース化や、研究業務（サンプル在庫管理、試験情報管理、動物管理等）のシステム化を行うことにより、研究現場で日々発生する情報の活用と、情報を用いた研究業務の効率化が可能となります。

コンサルティングからシステム構築、運用サポートを通して、研究所内に散在する情報の統合化をトータルに支援いたします。

創薬インフォマティクス システム構築サービスの概要



得られたデータを価値のある情報として利用するためには、その利用目的に合わせた適切な形式でデータを蓄積しなければなりません。

創薬インフォマティクス システム構築サービスでは、データ設計や検索システム構築をデータ形式や利用目的に合わせて行い、所有するデータの活用を支援いたします。

※記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。